

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和4年3月24日(2022.3.24)

【公開番号】特開2021-158687(P2021-158687A)
 【公開日】令和3年10月7日(2021.10.7)
 【年通号数】公開・登録公報2021-048
 【出願番号】特願2021-104757(P2021-104757)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5 / 2 3 2 (2 0 0 6 . 0 1)

H 0 4 N 5 / 9 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 4 N 5 / 2 3 2 3 0 0

H 0 4 N 5 / 2 3 2 0 6 0

H 0 4 N 5 / 2 3 2 9 6 0

H 0 4 N 5 / 2 3 2 9 9 0

H 0 4 N 5 / 9 2 0 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月15日(2022.3.15)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置とネットワークカメラとが通信可能に接続された情報処理システムであって、

二次元コードに係る情報を取得する取得手段と、

30

前記ネットワークカメラにより撮影された映像から前記取得手段が取得した二次元コードに係る情報により特定される二次元コードを検出する検出手段と、

前記検出手段が検出した二次元コードが撮影される画角になるよう、前記ネットワークカメラのパン・チルト・ズームを調整する制御手段と、

を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】

前記制御手段は、前記二次元コードが画像の略中心になるよう、前記ネットワークカメラのパン・チルト・ズームを調整することを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

【請求項3】

40

前記制御手段は、前記二次元コードが所定の大きさを撮影できるよう、前記ネットワークカメラのパン・チルト・ズームを調整することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理システム。

【請求項4】

前記情報処理システムは携帯端末と通信可能に接続された情報処理システムであり、前記取得手段は、前記携帯端末により撮影された二次元コードに係る情報を取得することを特徴とし、

前記取得手段が、前記ネットワークカメラによる撮影中に別の二次元コードに係る情報を取得した場合、当該二次元コードを撮影した携帯端末に対して、待機する旨を通知する通知手段と、

50

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理システム。

【請求項 5】

情報処理装置とネットワークカメラとが通信可能に接続された情報処理システムにおける情報処理方法であって、

前記情報処理システムの取得手段が、二次元コードに係る情報を取得する取得工程と、前記情報処理システムの検出手段が、前記ネットワークカメラにより撮影された映像から前記取得工程において取得した二次元コードに係る情報により特定される二次元コードを検出する検出工程と、

前記情報処理システムの制御手段が、前記検出工程において検出した二次元コードが撮影される画角になるよう、前記ネットワークカメラのパン・チルト・ズームを調整する制御工程と、

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】

コンピュータを、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の各手段として機能させるためのプログラム。

10

20

30

40

50